

D-12 わが国における学校外教育のあり方に関する研究<その2>
戦後日本の児童政策の歴史
日本福祉大 社会福祉 小木美代子

目的 拙者は、才一報(才26回総会)において、今日における学童保育問題の所在について考察を試みたが、今回は、それを厂史的に考察することを目指す。とりわけ、戦後における児童政策(学校外教育を中心に)と運動とのかゝりあいについて深めたい。

方法 戦後における公教育(社会教育を中心に)の厂史を運動とのかかわりにおいて分析し、変革の節となっている政策や運動について、さらに深く追求する。

結果 児童の学校外教育にかゝる政策としては、いくつかみられるが、それらを具体化していく段階で、必ずしも積極的な児童のための政策とはなっていない。また、運動においても、それらを制度化させるまでは、かなりの盛り上りをみせるのであるが、以後そのエネルギーが継続されない場合が多い。この点については、今後の課題としたい。